

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	難治性がんである女性生殖器悪性黒色腫の後方視的観察研究
	研究目的	外陰・腔に発生する悪性黒色腫は稀少がん腫であり，他の悪性黒色腫に比べて再発率が高いにも関わらず術後補助療法や再発治療が確立されておらず，難治性がんとされる．子宮頸部原発悪性黒色腫は更に稀少である．本邦における外陰腔悪性黒色腫の患者背景及び治療方法の現状把握を目的とした他施設共同調査研究（当院倫理委員会承認日 2017 年 10 月 8 日：疫-67）で対象となった 1995 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までの 21 年間に外陰腔悪性黒色腫の診断で治療を行った 11 症例と，同期間に子宮頸部悪性黒色腫診断で治療を行った 2 症例について，患者背景，治療方法，転帰・再発様式，病理所見，遺伝子変異の有無などを詳細に把握し，外陰腔悪性黒色腫に対する治療戦略を考える上で参考にする．
	研究期間	西暦 2018 年 1 月 25 日～西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理 についての責任者	研究責任者	婦人科医師 内山亜弥
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科 / 病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし